令和４年度　南信州広域連合地域自立支援協議会権利擁護部会　報告

1. 本年度のねらい・目的

　障がい者の権利擁護の法律や施策が施行されているが、地域の中で理解を深めるため、基本的な権利擁護についての研修や身近な事例を通した学習を進める。また県自立支援協議会、南信州広域連合地域自立支援協議会の各部会との連携を取り、圏域全体の権利擁護意識の向上に努める。

２．部会の開催及び取り組み内容

　　開催日時　年３回　（偶数月　概ね第２金曜日　　13:30～15:00）

\*４月21日（金）13:30～　三役会議にて今年度の方針検討

　第1回　6月10日（金）　13:30～

障がい者権利擁護研修会

　　　　　 虐待防止法と支援者の役割・取り組みについて

　　　Zoomでのオンライン研修　　　　　　　　　　　　参加者　47名

　第2回　10月14日（水） 13:30～

　　　 　成年後見支援センターの取り組み～事例を通して 参加者 20名

第3回　12月9日（金）　13:30~

　　　　　 虐待防止と対応について

飯田市の令和3年度における虐待通報について

事例検討　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　参加者　17名

３．今年度の振り返り

　　・　zoomでのオンライン研修は、参加しやすくて良かったです。

　　・　虐待件数が最近増加しているため、定期的に詳しい研修が必要と思います。

* 成年後見支援センターの取り組みも事例を通して分かりやすく、役割も再確認できました。
* 「障害者虐待防止の更なる推進及び身体拘束などの適正化」義務化の年でしたので、自法人の整備した内容が「これで良いのか？」「こうした方が効果的か」など確認を行い、行政及び他法人の方々（縦と横）とのリアルタイムな情報や意見交換ができ、好機な部会活動内容だったと思います。やはり、行政の情報を聞ける機会は貴重です。

・　事例研修に参加し、支援のヒントになりました。今後事業所でも参考に行ってみたいと思う。

* 行政・事業所・病院など様々な立場からの話合いや活動結果・資料の共有ができれば良いと思います。
* グループワークでは行政サイドと施設サイドとの対応の関係性や困難さを、事例を通して知ることができました。各研修には分かり易いバラエティーに富んだ事例検討で意見交換ができ、より具体的に理解を深めるのに役立ちました。
* 特に近い地域でのニュースは身が引きしまる思いでした。
* 年３～４回で良かった。
* 第３回のグループワークでは、コロナ過の中なので、少し危険だと感じた。

４．来年度に向けて

　　・　今後も、事例発表を取り入れてもらいたい。

* ニュースになった案件を取り入れてもらいたい。
* 虐待など権利擁護について、どのような背景で、どこから通報がされ、どのような支援、制度、事業などにより解決に至ったなど、具体的な支援事例を用いた研修が増えると良い。
* 共通の話題を合同で協議し、研修をする機会が増えるといい。
* 虐待防止、成年後見支援といった権利擁護の内容は、支援にあたる関係機関もそうですが、行政にも知っていただきたいので参加をお願いしたい。